



生きものの“つぶやき”：

「にらめっこでもするか？」

エッセイ：

アスファルトの上にばったが一匹。たいていのばったは近づくと素早く逃げて行ってしまうが、目の前のばったは人間が通ってもお構いなしの悠々とした佇まい。心なしか身体のサイズも比較的大きく感じます。真正面からカメラのレンズを向けても動じず、こちらをじっと見つめてくるところも貫禄に溢れており、思わず心中で「失礼します！」と呟きながらお写真を撮らせていただきました。……と思ったら、カシャ、というシャッター音が鳴った途端に慌てたようにどこかへ行ってしまいました。もしかしたら貫禄ある雰囲気はわたしの気のせいで、本当はただ日向ぼっこに夢中になってこちらに気がつかなかっただけだったのかもしれませんが。邪魔してごめんね。(304字)

生きものの紹介：

ショウリョウバッタ (精霊蝗虫) : 昆虫綱・バッタ目・バッタ科。日本に分布するバッタの中では最大種。別名ショウジョウバッタ。オスの成虫は体長 5 センチほどだがメスは 8-9 センチにまで成長する。体色は周囲の環境に擬態した緑色が多いが、茶褐色の個体も見られる。

撮影場所・日時:

三重県桑名市中央町 2024年7月29日

応募者の自己紹介:

1. 氏名: 松下 莉奈
2. 高校・学年: 三重県立四日市高校・2年
3. 所属: 卓球部、放送部

審査員からのコメント:

構図の面白さ。

バッタ目線の高さで写真をとった構図が斬新。

アングルが抜群。